

くるくるつうしん 第5号

平成17年2月28日発行

発行：特定非営利活動法人くるくる

〒448-0843 刈谷市新栄町7-73-3 フラワービル3F

TEL&FAX：0566-28-7496

Mail：kurukuru@arion.ocn.ne.jp

URL：http://www4.ocn.ne.jp/~kurux2/

昨年1月16日に愛知県より法人認証を受け、1年が経ちました。くるくるは、1歳の誕生日を迎えることができました。

先日の設立1周年記念コンサートでも、大勢の方々に足を運んでいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

さて、障害者支援費制度に代わる新法案の概要が明らかになってきました。就労移行支援、一人暮らしのサポート体制整備等、「自立」をうたい文句に「障害者自立支援法」と名づけられましたが、給付認定を行う市町村審査会の設置、利用者負担の増大、移動支援の見直し等、根底にあるテーマは、「お金をいかに低く抑えるか」ということではと感じます。

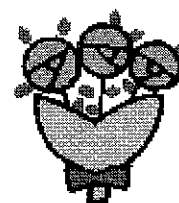
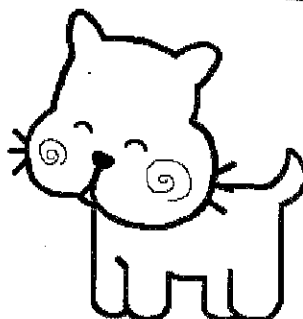
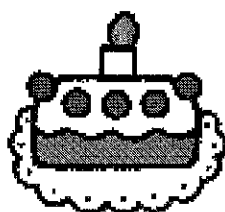
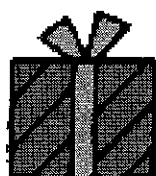
支援費・介護保険共に言えることですが、制度が誕生し、評判が評判を呼んで利用者数・利用時間が増えていき、結果的に財政を圧迫するという状況に陥りました。眠っていたニーズが掘り起こされた形ですが、予算が追いつかないというわけです。

現在日本は他の先進国に比べて、国家財政に占める社会保障費の割合は低いですが、すさまじい少子高齢化の波で、社会保障費（医療・年金・福祉）の割合は、今後上昇し続けるでしょう。若い人が減って税収が減ると、国民一人あたりにかかる社会保障費が減少し、質・量共に厳しくなります。

「人間らしい生活」、「安心できる暮らし」を考える時、今後の日本の行く末を見定めていくことが大切になってきますし、今後の変革を「待つ」だけでなく、「動く」ことも必要になります。

「誰もが安心して暮らせる」ための道をまだまだ2年目、若輩のくるくるですが、一緒に歩んでいただけたらと思います。

（鈴木）



◆ホームヘルプ

2月6日、「くるくる1周年コンサート」を開きました。地域の方にも参加いただき、思った以上の大盛況でした。ありがとうございました。しかし、この1年は「あつという間だったなあ」と感じています。

最近の障害者福祉を取り巻く制度は、ものすごい勢いで方向転換をしています。支援費制度の破綻を受け、10月に「改革のグランドデザイン（案）」が示され、2月上旬に「障害者自立支援法案要綱（新法案）」が国会に上程されました。3障害（知的・身体・精神）を統合し、個々の障害程度に合わせた適正なサービス供給と適切なケマネジメント（身体障害者等のセルフマネジメントは認める）を整備していきます。

移動支援については抜本的な見直しが挙がっています。平成17年度4月からの具体的な動きは、事業所サイドでは、適正なサービス給付により、移動介護（身体介護を伴う）の単価が、1.5時間以上では家事援助の単価（現単価の4割）となるようです。これは、知的障害のある方への長時間利用に対する爆発的なニーズに対し、見直されました。

さらに個々の障害程度に合わせた動きでは、新たに「行動援護類型」が創設されます。これは、自傷や他害などの行動障害がみられる方、てんかん発作のある方、危機回避等が困難な方に対し身体介護、移動支援も含めた生活全般にわたる支援をイメージしています。また対象者は、判定基準が設けられ、市町村で判定が困難な場合は、更生相談所や児童相談所で判定されるようです。

平成18年度10月からは、現在のホームヘルプの移動介護という類型はなくなり、重度の方を支援する「行動援護」と市町村事業としての「移動支援事業」としてスタートしていく予定です。事業所として、「くるくる」のようなNPOが担っていくかどうかの具体的な方針は出ていません。利用者にとっては、市町村独自の事業のため福祉予算にも限りがあり、厳しく制限されるのではないかと危惧されています。

「障害者自立支援法案」では、目的に「地域社会の実現」としっかり謳われています。各市町村（刈谷市）で、障害者の個々の特性を活かした地域づくりとは何かを改めて考えさせられている時期にいると思います。

くるくる保護者向け勉強会「いるかの家の活動 宿泊訓練～グループホームへ」にて、講師をしていただいた知多市の保護者の方は、「親亡き後も、地域で暮らす」、「受身の生活だけじゃない生活」、「親はどのように資源をたぐり寄せていくか」と言われました。参加された保護者の方、くるくるスタッフ共に大ききうなずき、心に残る強い言葉をいただきました。

ホームヘルプスタート4月当初、中学3年生だった方もこの春にはもう高校入学です。自然と笑みがこぼれます。障害者本人が、一步一步あゆむ早さに遅れないように、支援の仕組みをつくり、一緒に笑みを浮かべていきたいです。（篠田）

<ホームヘルプ利用状況>

	利用者数	身体介護	移動介護	総利用時間
11月	43人	44.0時間	332.5時間	376.5時間
12月	45人	40.5時間	368.5時間	409.0時間
1月	45人	45.0時間	350.5時間	396.5時間

◆出前コンサート

このたび、新規登録の2団体が仲間入りしました。

手話バンドの「ANGELS (エンジェルス)」さんと、ゆかいで楽しい「Atoms Factory Road (アトムスファクトリーロード)」さんです。2組ともまた新たな風を呼んでくれそうです。詳細は、別紙案内をご覧ください。

◆余暇クラブ

休日支援の一環としてスタートした余暇クラブ。

5つ目のクラブ「リラクゼーションクラブ」も始まり、「余暇」・「自己啓発」・「生きがいづくり」の場として、基本的にヘルパーによる個別対応で行ってきました。

先日、厚生労働省より「事業所が主催する企画にヘルパーが付き添うのは支援費対象外」という主旨の通知があり、現状の体制で行うことが難しくなりました。そのため、3月のクラブを休止し、来年度から新体制にて実施予定で準備しています。

利用者みなさんにとって、この1年の活動が余暇の選択肢を広げる場としてお役に立てたのであればうれしいですし、今後も継続していきたいと考えております。

みなさまにも、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

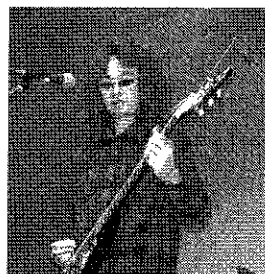
★ くるくる近況報告 ★

設立1周年記念コンサート <2月6日 ディースクエア:デンソー>

くるくるの設立1周年を記念したコンサートを開催しました。

当日は、開場が満員になるほど、刈谷市近隣の方だけでなく、名古屋や尾張地方からも足を運んでいただきました。ほとんどは、この1年で出会った方ばかりです。

当日、出演して下さったのは、出前コンサート登録バンド・アーティストの方々です。いろいろなジャンルの音楽がありました。いいな!、また聴きたいな!と思った方は、ぜひ、くるくるまでご連絡ください。あなたの街にも出張してくれることと思います。



アメニティーフォーラムINしが8 (2月11日～13日)

2月11日～13日の3日間お休みをいただき、スタッフ4名でアメニティーフォーラムINしが8に参加してきました。

琵琶湖のほとり大津市に全国各地から1600人もの人が集まったのフォーラムは、朝から夜遅くまでびっしりとプログラムが組まれており、ボリューム満点の3日間でした。

フォーラムでは、当事者・支援者・行政・政治家だけでなく、マスコミ・学者・企業等、それぞれの立場から地域福祉についての熱い意見・想いが飛び交い、全国各地の取り組みについて、また、国の最新の動きについての情報が行き交いました。厚生労働省は、障害者自立支援法については、地域での生活を重視しているものの、今後は、自己負担なしでは限られたサービスを分け合うことしかできないと断言しています。

激動する制度に注目し、それぞれの地域で活動を進めていくことの重要性を改めて感じ、また、同じ想いをもつ全国の仲間との交流の中で、刺激とエネルギーをもらったフォーラムでした。



ありがとうございました

<賛助会員> 山田千里様 (2月25日現在)

賛助会員を募集しています

くるくるでは、法人の理念・活動に賛同し、支援して下さる賛助会員を募集しています。

- ・年会費 1口 3,000円
- ・会員特典 会報「くるくるつうしん」の送付、イベント等の情報の配信
- ・申し込み くるくるまで氏名・住所・TEL・FAX・所属先をお知らせ下さい。
その上で、年会費の納入をお願いします。
- ・振込先 岡崎信用金庫 刈谷支店 口座番号 3162778
口座名 特定非営利活動法人くるくる 代表理事 小野規正

●1年前は、机と中身が空っぽの棚がなく、がらんとしていたくるくるの事務所も、今では物であふれかえり、机や棚もびっしりと詰まっています。そんなことでもこの1年の月日を感じます。それにしても掃除・整理をしなくては…

●ふと気が付けば、昨年春いただいたチューリップの鉢植えから新しい芽が出ていました。ろくに手入れもしていなかったのに、立派な芽が出て、すくすくと順調に育っています。植物のたくましさを感じました。花が咲くのが待ち遠しい今日この頃です。